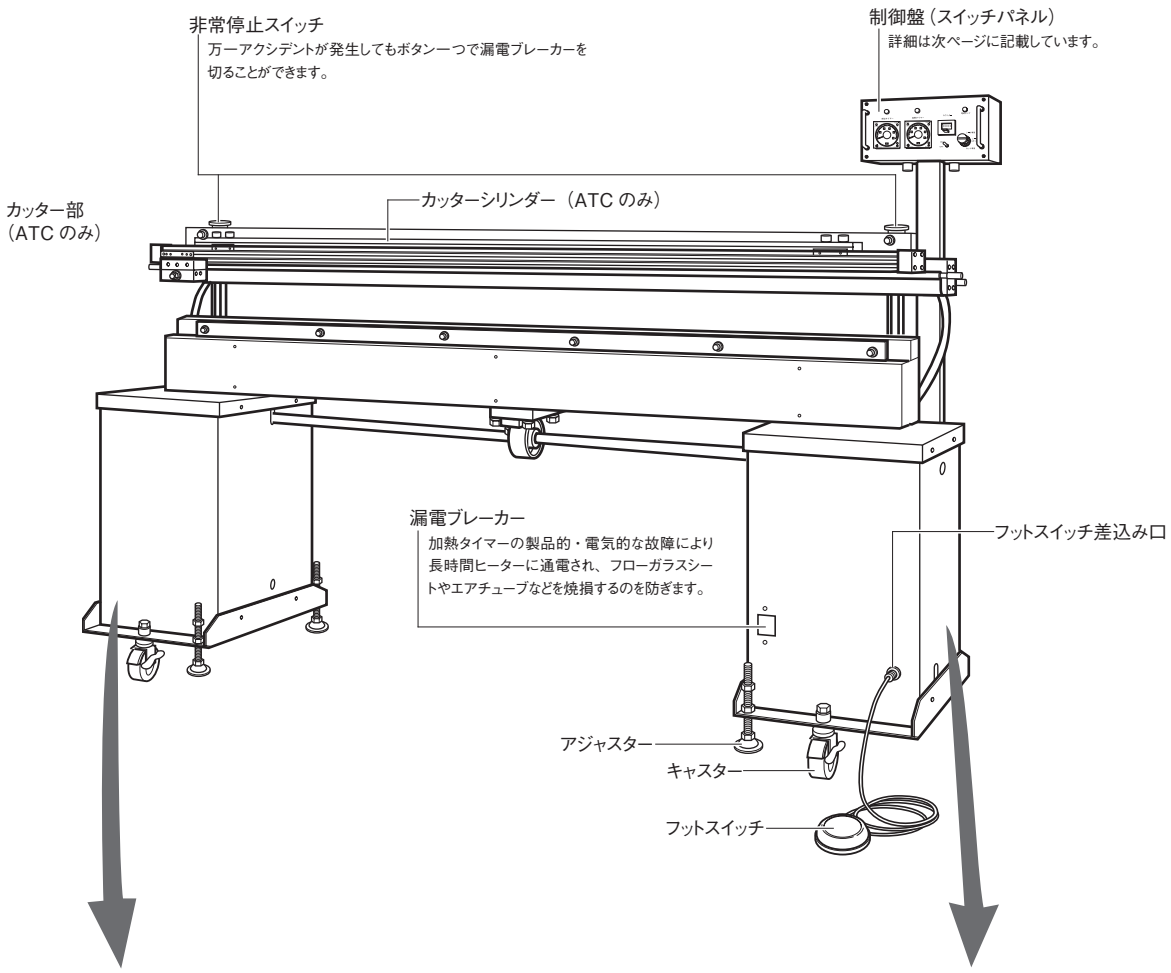
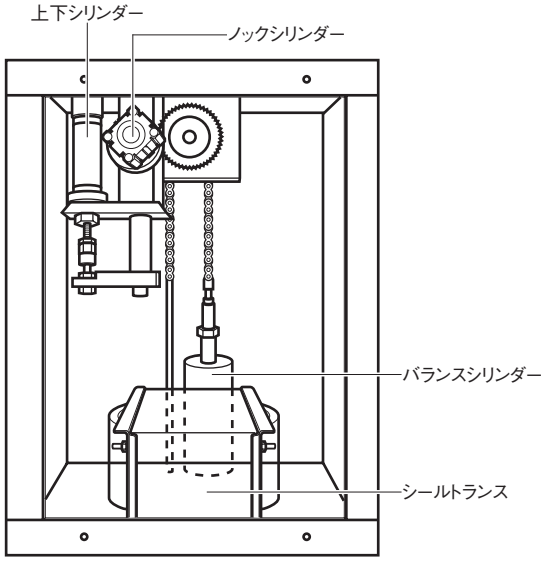
5　各部の名称とはたらき

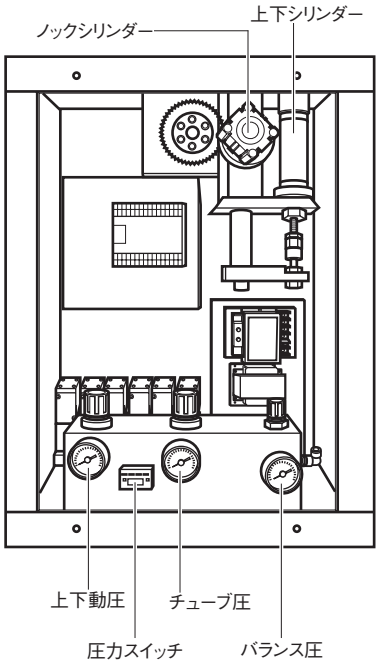
5-1　製品全体



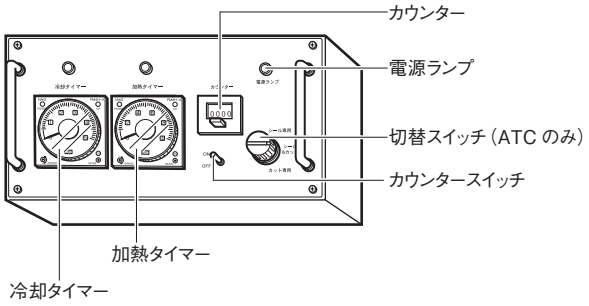
スタンド BOX 左側の内部



スタンド BOX 右側の内部

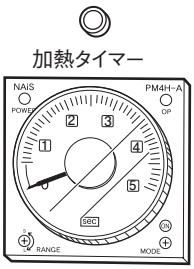


5-2　制御盤（スイッチパネル）



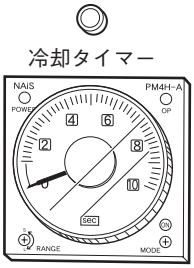
● 加熱タイマー（設定時間：0.5 ～ 5 秒）

包装フィルム（袋）の材質・厚さにより加熱時間が異なります。
シール状態をよく確認して調整してください。
シール時間が良好な範囲内で、できるだけ加熱時間を短く調整されると、無駄な温度上昇が無く、作業速度も速くなり、また、ヒーター、フローガラスシート、ガラステープなどの消耗が非常に少なくなります。ヒーターを必要以上に加熱させないように注意してください。



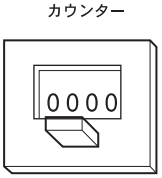
● 冷却タイマー（設定時間：1.0 ～ 10 秒）

材質、厚みなどの影響でシールに波打つとき、シールが曲がるとき、シールが美しくできないときは、冷却時間を長くしてください。但し、冷却時間が長すぎると作業速度が低下します。加熱時間と同様に、良好なシールができる最短時間でご使用になるとより効率的になります。



● カウンター、カウンタースイッチ

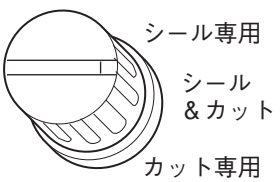
カウンタースイッチを ON にすると、シール終了時に作業回数をカウントすることができます。カウンター表示下のボタンを押すと表示か“0000”に戻ります。カウンターを使用にならない時は OFF にしてください。



● 切替スイッチ（ATC のみ）

スイッチの切替により下記の各工程を行います。

1　シール専用・・・シール工程のみ行います。
2　シール&カット・・・シール工程終了後、自動的にカッターが作動し、余分な部分をカットします。
3　カット専用・・・カッターのみ作動し、余分な部分をカットします。



6　準備

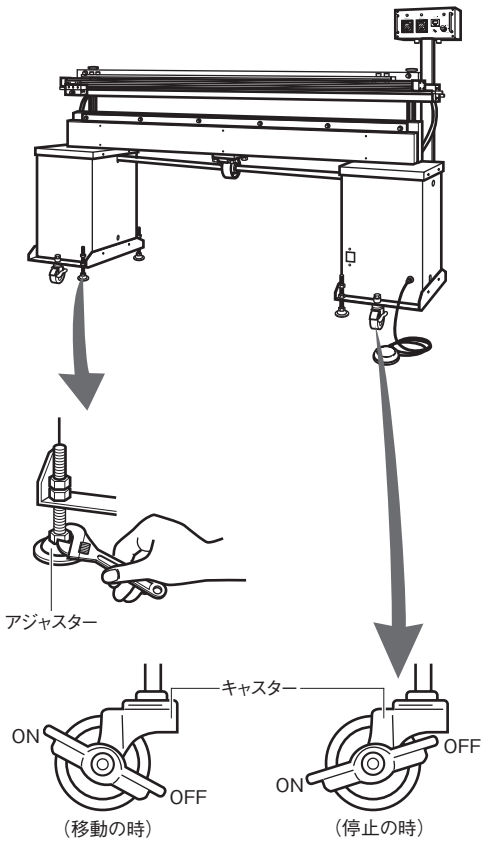
開梱から製品を使い始めるまでの準備は、概ね以下の手順で行います。

開　梱
▼
6-1　作業場所の確保
▼
6-2　フットスイッチの取り付け
▼
6-3　電源の接続
▼
6-4　エア源のセットアップ
▼
6-5　加熱・冷却時間の設定
▼
6-6　非常停止スイッチの動作確認

6-1　作業場所の確保

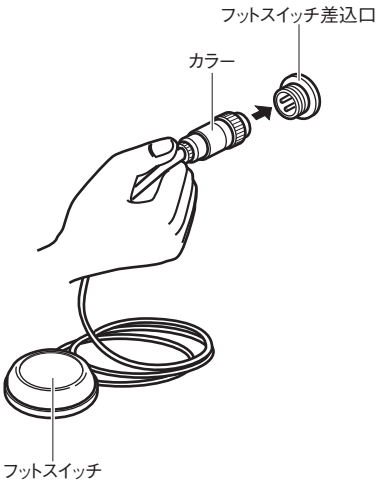
作業場所が決まりましたら、製品下部のキャスター（4 個）をしっかりとロック ON にして固定してください。さらに、アジャスター（4 個）を右に回して下げて、作業場所に固定してください。

⚠ 警告　傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。製品が倒れたり、設置場所から移動して破損、負傷の恐れがあります。必ず平らな安定した場所でご使用ください。
床面が濡れていたり、水滴・水蒸気がかかる場所では使用しないでください。製品の故障の原因となり、漏電する危険性があります。



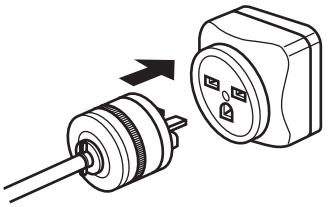
6-2　フットスイッチの取り付け

附属部品の中にフットスイッチが入っていますので、製品右前面にあるフットスイッチ差込口に差し込んでください。
差し込んだ後、カラーで固定してください。



6-3　電源の接続

電源は必ず、製品消費電力に適合した容量を持つコンセントから直接接続してください。また、プラグは根元までしっかりと差し込んでください。製品の消費電力は「10 仕様」をご覧ください。



⚠ 警告　消費電力は製品によって異なりますので、コンセントの容量がそれ以上であることを確認の上、直接接続してください。容量の少ないコンセントから電源を取ったり、継ぎ線をしたりする電圧降下し、製品が正常に動作しないだけでなく、電線やコンセントに発熱して火災の原因にもなりますので、適切な容量になるように電気配線工事をしてください。
電気配線工事は、電力会社の認定工事店で行ってください。（電気工事、第３種設置工事の施工には資格が必要です）

⚠ 警告　予め組み込まれている標準のプラグを取り除き配線する場合は、接続に誤りのないように確かめて行ってください。コードの接続は左のようになっています。アース（線）が所定の端子に接続されていない場合、電源側で短絡（ショート）や漏電をします。

6-4　エア源のセットアップ

AT/ATC シリーズは製品を駆動させるために別途エアコンプレッサーが必要となります。適合するコンプレッサーをご使用ください。

適合コンプレッサー

クリーンエア：1.5kW 、165L/min 、0.6MPa 以上

エア配管

エア配管は、チューブまたはエアホースを使用してください。

⚠ 注意　チューブまたは、エアホースをエアコック（エア接続口）の根元まで差し込みホースバンドでしっかりとめてください。

⚠　以下作業を始める際、フィルタレギュレータのエアコックを開くと、エア圧力で圧着レバーが開きます。充分注意して準備してください。

エアコック

エア源の接続を行ったのち、フィルタレギュレータのエアコックを開き、エア圧力の調整を行ってください。

作業終了時には、必ずエアコックを閉じるようにしてください。

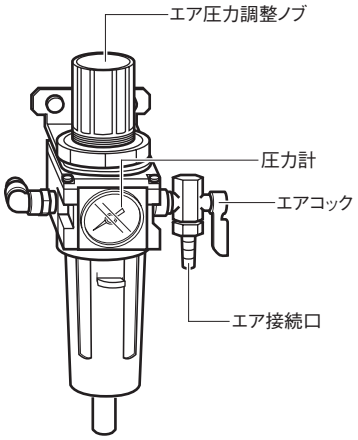
エア圧の調整

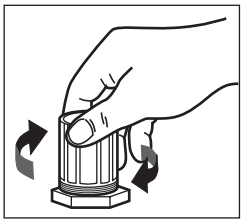
フィルタレギュレータのエア圧力調整ノブを引き上げ、時計方向（右回転）に回すと、エア圧が上がります。

設定位置でエア圧力調整ノブを押し、溝に入れてロックしてください。

圧力設定値：0.5MPa

フィルタレギュレータ



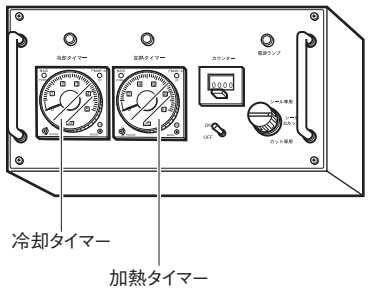


6-5　加熱、冷却時間の設定

包材フィルム（袋）の材質や厚みに応じて時間を設定してください。

加熱・冷却時間の設定範囲は、「5 各部の名称とはたらき >> 5-2 制御盤（スイッチパネル）」をご覧ください。

冷却タイマーの設定は、加熱タイマーの設定値よりも 2 ～ 3 秒長くしてください。

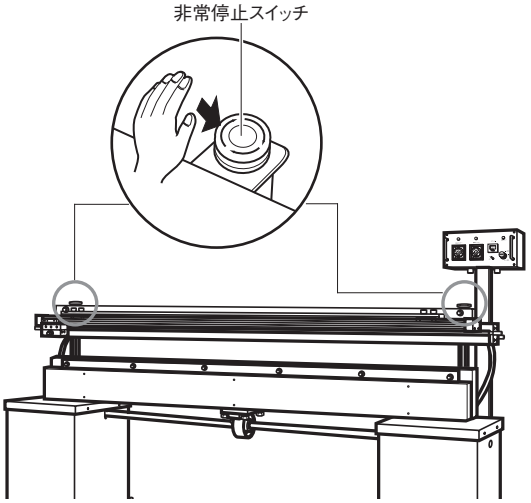


6-6　非常停止スイッチの動作確認

万一アクシデントが発生した場合は、製品上部の左右に取り付けてられている非常停止スイッチ（赤）を押すと、シールバーが初期状態の上部位置に戻ります。

⚠ 注意　作業を開始される前に非常停止スイッチが確実に機能しているかご確認いただいた上で作業をスタートしてください。

非常停止スイッチを押すと、ボタンスイッチにロックがかかる構造になっていますのでロックを解除する場合は、非常停止スイッチの上部を右方向に回転させると解除することができます。



7　正しい使い方

AT/ATC シリーズをご使用いただく場合、「6 準備」に記載している製品の使用のための準備事項を行った後、以下の「正しい使い方」の手順でお使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、大変危険です。

⚠ 注意　手順に記載している通りに製品が作動しなければ、すぐに使用を中止してお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

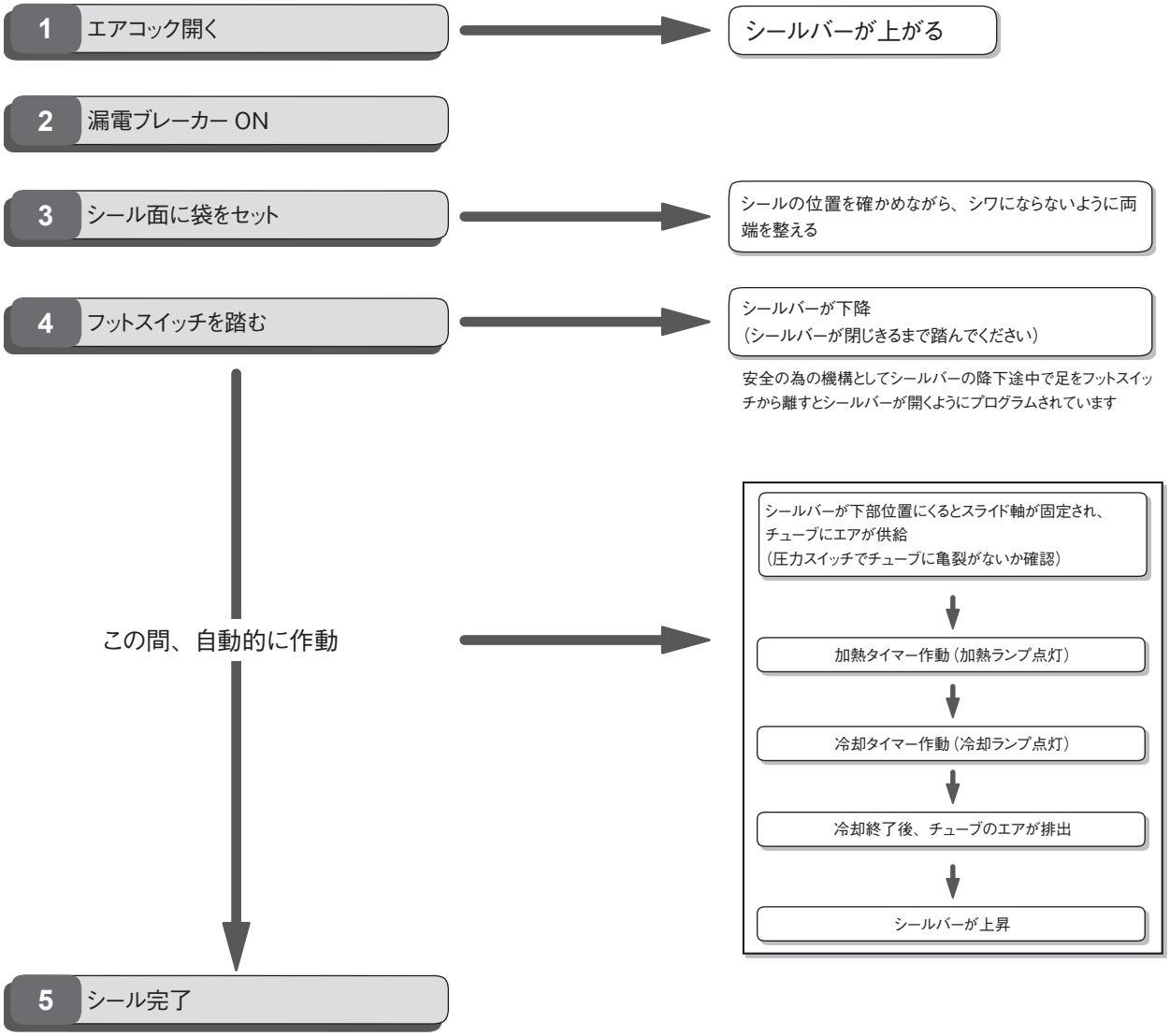
注！　途中で作業を中断したいときは、漏電ブレーカーを OFF にして、再び ON にしますと初期状態に戻ります。

⚠ 注意　フットスイッチを踏むと圧着レバーが閉じます。（電源 ON の場合）
特にシール面に袋をセットするときなど指を挟み込まないように充分に安全を確認した上で作業を行ってください。

⚠ 注意　シール中は、ヒーター、電極が熱くなっていますので、手などが触れますと、火傷をする恐れがあります。シール中は、ヒーター、電極に触れないようにしてください。

7-1　AT シリーズの使い方

◆準備ができましたら、下記の手順により作動させてください



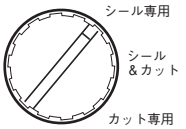
シール終了後、
作業を終了させる場合は「7-5 作業を終了するとき」をご覧ください。

7-2　ATC シリーズの使い方（シール専用）

シール専用

●フットスイッチを操作するだけで簡単にシーリングできます

切替スイッチ
シール専用



◆準備ができましたら、下記の手順により作動させてください

1 エアコック開く → シールバーが上がる

2 漏電ブレーカー ON

3 切替スイッチ　シール専用 → 上記切替スイッチのイラスト参照

4 シール面に袋をセット → シールの位置を確かめながら、シワにならないように両端を整える

5 フットスイッチを踏む → シールバーが下降
（シールバーが閉じきるまで踏んでください）

安全の為の機構としてシールバーの降下途中で足をフットスイッチから離すとシールバーが開くようにプログラムされています

この間、自動的に作動 →
- シールバーが下部位置にくるとスライド軸が固定され、チューブにエアが供給
（圧力スイッチでチューブに亀裂がないか確認）
- 加熱タイマー作動（加熱ランプ点灯）
- 冷却タイマー作動（冷却ランプ点灯）
- 冷却終了後、チューブのエアが排出
- シールバーが上昇

6 シール完了

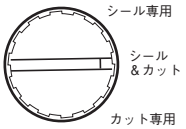
シール終了後、
作業を終了させる場合は「7-5 作業を終了するとき」をご覧ください。

7-3　ATC シリーズの使い方（シール&カット）

シール&カット

●フットスイッチを踏むだけでシールを行い、その後カッター刃で袋をカットします。

切替スイッチ
シール&カット



◆準備ができましたら、下記の手順により作動させてください

1 エアコック開く → シールバーが上がる

2 漏電ブレーカー ON

3 切替スイッチ　シール&カット → 上記切替スイッチのイラスト参照

4 シール面に袋をセット → シールの位置を確かめながら、シワにならないように両端を整える

5 フットスイッチを踏む → シールバーが下降
（シールバーが閉じきるまで踏んでください）

安全の為の機構としてシールバーの降下途中で足をフットスイッチから離すとシールバーが開くようにプログラムされています

この間、自動的に作動 →
- シールバーが下部位置にくるとスライド軸が固定され、チューブにエアが供給
（圧力スイッチでチューブに亀裂がないか確認）
- 加熱タイマー作動（加熱ランプ点灯）
- 冷却タイマー作動（冷却ランプ点灯）
- 冷却後、カッターが移動する
- 冷却終了後、チューブのエアが排出
- シールバーが上昇

6 シール&カット完了

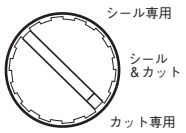
シール&カット終了後、
作業を終了させる場合は「7-5 作業を終了するとき」をご覧ください。

7-4　ATC シリーズの使い方（カット専用）

カット専用

●フットスイッチを踏むだけでカッター刃が袋をカットします。

切替スイッチ
カット専用



◆準備ができましたら、下記の手順により作動させてください

1 エアコック開く → シールバーが上がる

2 漏電ブレーカー ON

3 切替スイッチ　カット専用 → 上記切替スイッチのイラスト参照

4 シール面に袋をセット → カットの位置を確かめながら、シワにならないように両端を整える

5 フットスイッチを踏む → シールバーが下降
（シールバーが閉じきるまで踏んでください）

安全の為の機構としてシールバーの降下途中で足をフットスイッチから離すとシールバーが開くようにプログラムされています

この間、自動的に作動 →
- シールバーが下部位置にくるとスライド軸が固定され、チューブにエアが供給
（圧力スイッチでチューブに亀裂がないか確認）
- カッターが移動する
- チューブのエアが排出
- シールバーが上昇

6 カット完了

カット終了後、
作業を終了させる場合は「7-5 作業を終了するとき」をご覧ください。

7-5　作業を終了するとき

1 漏電ブレーカーを切にする

2 エアコックを閉じる

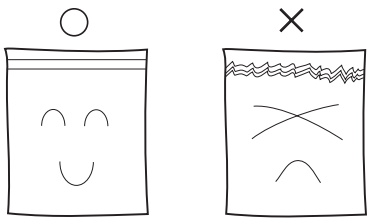
↓

終　了

⚠ 注意　長時間使用されないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

シールの仕上がり状態について

インパルス方式のシーラーは、シール条件として加熱、冷却、圧力が重要であり、シールの良否に大きく左右します。また、異なる包材、内容物において加熱時間、冷却時間、加圧力の最適な設定が異なりますのでご注意ください。



⚠ 注意　異なる包材、内容物における最適なシール状態がお客さまの責任において確認してください。ガゼット袋の場合、厚みが場所によって異なりますので密封されているかどうか、必ず確認してください。
【例：水中で袋を押し、気泡が出ないか確かめるなど】

附属部品の中にシールサンプルを入れておりますので、ご参考にご利用ください。